

エアコン

既存設備を繋げてIoT化

製氷機

壊れる前に直す!

IoT 予知保全

IoT技術を活用したシステムで
冷熱機器の故障を事前に防ぎます

他分野への応用

予知保全のランニングコスト < 機会損失額

冷凍機

環境試験器

冷蔵庫・冷凍庫

冷凍機予知保全システム

こんなお悩みは
ございませんか？

- 冷蔵庫・冷凍庫が冷えず中身の商品がダメになった
- 冷凍機の故障により製造ラインが停止した
- 試験設備が止まってしまう出荷試験ができない
- 突然故障した! 修理期間が長い、費用が高い

そのお悩み、予知保全で解決します!



株式会社 新冷熱技研

静岡県浜松市浜北区 貴布祢 2262 番地 ミルキーウェイ 101

☎ 053-443-7506 (FAX 053-443-8782)

<http://shin-reinetsu.com/>

代理店募集中! OEM 供給もできます。IoT の導入をご検討中のお客様は是非お気軽にお問い合わせください。

最新のIoT技術を既存設備のメンテナンスに活用!

壊れる前に直す「IoT 予知保全」

冷熱機器の保全活動は現在、壊れてから修理する「事後保全」と壊れないように定期的に点検する「予防保全」が主流です。故障に伴う機会損失・点検費用のお客様負担・冷媒漏れ等の問題を改善するには、メンテナンスの在り方を抜本的に革新する必要があります。そこで、弊社ではIoT技術を用いて冷熱機器の状況を継続把握し不具合や故障の前兆を捉え迅速に修理を行う「予知保全」システムをご提供したいと考えております。

予知保全のランニングコスト < 機会損失額

予知保全の導入により、設備を復旧する際の完全停止期間を大幅に短縮できます。故障の前兆を捉えた時点で準備を開始し、設備を動かしながら修理実施までの一連の活動を行うことで、修理にかかる時間と費用の削減が可能です。

事後保全と予知保全の違い

例1 事後保全の流れ



例2 予知保全の流れ



IoTを活用した予知保全システムの概要



(試作開発中)

IoT 技術を活かす 具体的な使い方をご提案!

予知保全システム端末内のセンサーを交換すると、他分野への応用が可能です。使い方はお客様次第! ご相談内容に応じ、お悩み解決に最適なIoTシステムをご提案させていただきます。将来的には、例えばこんな用途が考えられます。

- 農業への活用** ビニールハウスや温室の適温管理に
- 現場状況把握** 各種産業用設備、自動車などの予知保全に
- 業務効率の改善** 人材・設備のフル活用につながります



冷熱に関するお困りごとを解決し、社会貢献を目指します

冷熱機器・環境試験器・フロンに関する
ご相談は弊社にお任せください
代理店募集中! OEM 供給もできます
IoTを導入したいお客様はお問い合わせください

株式会社 新冷熱技研

☎ 053-443-7506 FAX 053-443-8782

<http://shin-reinetsu.com/>